

## 第6回下地島空港活性化協議会を開催しました ～羽田発着枠獲得に向け、さらに地域一丸となって各種事業に取り組みます～

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)(※)は2021年11月19日、第6回協議会を開催しましたのでお知らせします。新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインでの協議会開催が続いておりましたが、今回は1年ぶりに協議会メンバーが宮古島に参集し、対面での開催となりました。

(※)本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

### 第6回協議会における主な報告・協議内容

- ✓ 2021年夏期スケジュールでスカイマーク羽田線・神戸線・那覇線及びジェットスター・ジャパン成田線の計4路線が運航し、コロナ禍にも拘わらず2021年度は4月から10月までの7カ月間で約13万人が利用、過去最高の年間利用者数を更新
- ✓ 閑散期にあたる冬期の観光コンテンツ充実による需要創出や、コロナ後を見据えた受入環境の整備等、取り組むべき課題の認識を共有した
- ✓ 2022年度に評価対象期間を迎える羽田発着枠政策コンテストにおけるスカイマーク羽田＝宮古(下地島)線の羽田発着枠獲得を目指し、地域一丸となって同路線の利用促進や宮古諸島・下地島空港の受入環境整備等に向けた各種事業への取組(主な取組:別紙参照)をより一層推進していくことを確認

今回の協議会の冒頭、会長を務める宮古島市座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「下地島空港の活性化は宮古島発展のために大変重要であり、その為に羽田空港発着枠は獲得しなければならない。官民一体、地域一丸での路線サポートについて決意を新たにすると共に、路線の利用促進や各種事業への取り組みを通じて実績を残し、今後のビジョンを訴えていくことで、羽田発着枠政策コンテストに必ず勝利したい。」

その後、下地島エアポートマネジメント株式会社(以下、SAMCO)より下地島空港の状況について以下の通り報告がありました。

### (空港利用者数)

- 2021年度はスカイマーク羽田線・神戸線・那覇線及びジェットスター・ジャパン成田線の計4路線が運航し、新型コロナウイルスの影響継続にも拘わらず、4月～10月までの7カ月間で約13万人が利用、過去最高の年間利用者数を更新。(過年度利用者数実績 2019年度:約12.5万人、2020年度:約11.3万人)

### (最近のトピックス)

- 10月25日、スカイマーク3路線(羽田・神戸・那覇)が就航1周年を迎え、1年間の3路線合計の利用者数が約13万人であったことを発表。協議会として、同社及び旅客への感謝の意を込めて記念行事を実施。

- 10月30日～11月1日、全日本空輸が成田より総2階建て超大型機 A380「フライング・ホヌ」を用いたチャーターを実施。10月31日には機体見学会も実施され、旅客のみならず地元住民や航空ファンにより大きな賑わいを見せた。

また、協議会メンバーにて、以下2点について確認を行いました。

- 2021年夏ダイヤはコロナ禍にも拘わらず堅調に推移したが、閑散期にあたる冬期の観光コンテンツ充実による需要創出や、コロナ後を見据えた受入環境の整備等、取り組むべき課題の認識を共有した。
- 羽田発着枠獲得に向けては、評価対象期間(2022年3月下旬から1年間)の取組がより重要となることから、今後さらに地域一丸となり、同路線の利用促進並びに宮古諸島・下地島空港の受入環境整備等に向けた各種事業への取組をより一層推進していくこと。

最後に、羽田空港発着枠政策コンテストにおいて提案を行った取組について、各会員より別紙内容を含め今年度の進捗状況が報告されたほか、今後の進め方に関する協議を行いました。

本協議会は、四半期に一度の頻度での開催を予定しております。今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。

#### 第6回下地島空港活性化協議会の様子



座喜味市長挨拶



ガッツポーズで羽田発着枠政策コンテストの勝利を誓う協議会メンバー

※撮影時のみマスクを外しております



協議会の様子

#### ■ 第6回協議会概要

日時： 2021年11月19日(金)13:30～15:00

場所： 宮古島市役所会議室

出席者： 座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)  
 宮城 嗣吉 沖縄県文化観光スポーツ部長(協議会事務局)  
 中尾 忠祐 宮古島商工会議所 副会頭  
 平山 茂治 (一社)宮古島観光協会 専務理事  
 伴野 賢太郎 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長

実施事項	概要・参考画像等	関係機関
<b>需要の開拓に向けた施策</b>		
全国各地からの誘客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スカイマークが羽田線と同時に神戸線・那覇線を開設したことで、乗継により茨城・中部・福岡との同日中のアクセスが可能となり、また羽田便の利便性も向上した。</li> <li>・ 乗継先での SNS 広告や三菱地所(SAMCO 株主)保有商業施設でのデジタルサイネージ広告を実施し、全国各地からの誘客を図っている。</li> </ul>  <p>スカイマーク下地島路線</p>	スカイマーク SAMCO (+ 三菱地所)
首都圏におけるプロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 首都圏において交通広告（駅・電車内）、東京駅周辺・横浜における三菱地所保有商業施設デジタルサイネージ広告等を実施  東京モノレール浜松町駅</li> <li>・ 11/1～12/31、御殿場プレミアムアウトレット（三菱地所グループ運営施設）においてスカイマーク航空券やホテル宿泊券等が当たるプレゼントキャンペーンを実施中 <a href="https://www.premiumoutlets.co.jp/gotemba/sp/retravel/">(https://www.premiumoutlets.co.jp/gotemba/sp/retravel/)</a></li> </ul>   <p>御殿場プレミアムアウトレットキャンペーンサイト</p>	SAMCO (+ 三菱地所)
オープントップバスの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄観光コンテンツ開発支援事業として、宮古島で初めて導入したオープントップバスを活用したナイトツアー「うみ・宙さんぽ」を 8 月から実施中 (<a href="https://miyako-umisora.com/">https://miyako-umisora.com/</a>)</li> <li>・ 11 月、一部日程にてオープントップバスを空港アクセスバスに導入するトライアル運行を実施  オープントップバス</li> </ul>	沖縄県 SAMCO
宮古島観光感謝祭の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/25-26、宮古島にて観光感謝祭（旅行会社等との商談会、新たな観光コンテンツの視察等予定、オンライン参加も可能）を実施し、旅行商品造成促進など観光産業のさらなる発展を目指す。</li> </ul>	宮古島市 宮古島観光協会
ふるさと納税返礼品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月、宮古島市ふるさと納税返礼品に「スカイマークで行く 宮古島行き旅行補助券」を登録</li> </ul>	宮古島市 スカイマーク
<b>安心安全な観光地づくり、新しいスタイルの旅の需要開拓に関する施策</b>		
安心安全な観光地づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/3、沖縄県が下地島空港を含む県外からの直行便の就航する離島空港に PCR 検査場を整備し開設</li> <li>・ 10/1、宮古空港・下地島空港でワクチン接種済証等の提示により島内で使用できる特典クーポンを配布開始  特典クーポン</li> </ul>	沖縄県 宮古島市 宮古島観光協会
オンラインツアーによる魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10/9,16 に沖縄県離島活性化促進事業として宮古圏域各離島の魅力を伝えるオンラインツアーを実施  オンラインツアー-特設ウェブページ</li> </ul>	沖縄県 宮古島観光協会